

栗山町での交流

栗山町の小学生と交流。飯館村のよさや学校生活の様子を心を込めて伝えました。また、バーベキューやスポーツ鬼ごっこなどを通して打ち解け、出会いのひとときを楽しんでいました。栗山町の皆さん、ありがとうございました。



ハンバーグがおいしくて、牛の命の大切さを改めて考えて味わいました。

震災の避難の時の悲しいできごとを知りました。

義樹さんは、北海道にいても飯館村のことを思っていました。ふるさとを愛しているんだと伝わりました。

「村に恩返しをしたい」という言葉が心に残りました。

薪割りが楽しかった。牛もとてかわかった。



菅野牧園にて

菅野義樹さん(最前列右端)の牧場を訪れた子どもたち。震災からのできごとや故郷への想いを話していただき、大きく心を動かされていました。併設のファームレストランでは、ここで育った黒毛和牛の牛肉を味わいました。



北海道からふるさとを見つめた学びの旅

新しい体験と出会いに いきいきトライ!



支笏湖(しこつこ)でわくわくのカヌー体験!湖上から眺める雄大な自然は格別です。



栗山町の小学生「くりやまキッズ」と混合チームでスポーツ鬼ごっこを思いっきり楽しみました。



「D&D」(札幌市)で新聞づくりのワークショップ。イメージを表現する手法について学びました。



明治から昭和初期の建造物を移築・復元した「北海道開拓の村」。先人の足跡を学びました。

「いいいたて希望の里学園」の5・6年生14人が、北海道へ1。菅野義樹さん(比叢)が営む「菅野牧園」は、北海道栗山町にあります。菅野さんは、震災時の原発事故による避難から北海道で暮らし始めたことなど現在に至る経緯と、離れていても故郷について考え続けている自身の想いを子どもたちに伝え、アイデアいっぱい牧場経営についても分かりやすく教えてくれました。また牧場では、

薪割りや牛の餌やりなどを体験させてもらいました。栗山町では同世代の栗山キッズとの交流も。スポーツ鬼ごっこやバーベキューを楽しみました。さらに支笏湖ではカヌー体験で自然を満喫、札幌市でも「北海道開拓の村」の見学などさまざまなアクティビティで北海道を体感しました。旅の記録には、タブレット端末を活用。一人ひとりが貴重な学びを持ち帰りました。

出会いと体験から得たかけがえのない学び



牧草ロールの上で



北海道

札幌市

● 栗山町

● 千歳市(支笏湖)